

本会議はすべて panel discussion 方式によるもので、各国代表はそれぞれいずれかの panel session に割り当てられるとともに group discussion (AからEまでの5グループ)においてもそれぞれメンバーとしての役割を持った。とくに注目すべき点は、台湾政府が家族計画を国の政策として承認し、5月2日に公表したことであって、この会議における台湾主催者側に対してのみならず、参加各国の代表者に強い印象を与えた。また、家族計画を正式に取り上げるに至っていないこの地域の多くの国々の中で、韓国と台湾はそれぞれ背景を異にしながらも、家族計画運動の先駆者として指導的な役割を演じていたことが注目される。

本会議は最後に勧告を作成したが、その中でとくに留意すべき点は、今度の台北会議と同様な性格をもった「東亜人口会議」を毎年順番制によってこの地域内で開催することを決定し、その具体的な問題を討議するため5人委員会(韓国、台湾、インドネシア、シンガポール、タイ)を設置したことである。

(黒田俊夫記)

ベルギー人口学会の設立

ベルギーの Université Catholique de Louvain の Département Démographie de l'Institute de Recherches Economiques, Sociales et Politiques の Dr. Guillaume Wunsch より6月17日付で本誌編集者あて連絡あり、去る4月25日にベルギーの人口専門家約30名が会合し、Belgian Demographic Society を設立することを決定したので、そのことを本誌に紹介してほしいとの依頼があった。

同学会の役員はつぎのごとくである。

J. MORSA (Université Libre de Bruxelles and Centre d'Etude de la Population et de la Famille) : Chairman

R. MOLS (Faculté Saint-Albert, Egenhoven-Louvain) : Vice-Chairman

H. DAMAS (Centre d'Etude de la Population et de la Famille) : Treasurer

G. WUNSCH (Université Catholique de Louvain) : Secretary General

(小林和正記)

〔訂正〕 本誌前号の「書評」のなかで、次の個所に誤植があったので訂正する。

ページ	行	誤	正
69	上から 16	IIだれが、何を、どこで	何を、どこで
"	" 22	総熱量を90カロリーと	90万カロリー
"	" 30	Jacques M. may 博士	May 博士
"	" 36~37	「新都市の憂うつ病といった	憂うつ病」と